

# Internap Latest News

**この度の東北地方太平洋沖地震により、被災された皆様、また、福島原発事故による被害を受けた皆様、及びご関係の皆様に謹んでお見舞い申し上げます。**

## CEOよりのご挨拶 —地震—

3月11日に大きな地震がありました。そのときは、私はコーヒーマーカーでコーヒーを入れていましたが、たいしたことはないだろうと思い、作業を継続していました。しかし、揺れはなかなかおさまらず、むしろ大きくなっていくようで、少し足元を取られるようになってきました。コーヒー抽出を失敗しないように、といたしますか、半分意地になって作業に集中していましたが、ふと、気がつくと、社員はみな、机の下に隠れてしまっており、やや悲鳴にも似た声が聞こえる中、私一人、黙々とコーヒーを入れているという、引っ込みのつかない状況になってしまいました。どうも、期せずして周囲の流れから浮いてしまう自分の人生を象徴しているようで、微妙な気分になりましたが、とにかく、コーヒーを入れ終えた頃、地震は一旦おさまりました。すこぶる地震酔いをし、少し吐き気がしました。

震度5かなと思いつつ、情報を取ろうと、テレビを見に行くと、「東北地方に津波警報が出ている」とのこと、「まあ、そうだろう。」と思いましたが、アナウンサーの次の言葉が、自分の頭の中で、うまく咀嚼できず、しばし、思考が停止してしまいました。「まもなく、10メートルの津波が来ます。海岸沿いの方は至急安全なところに避難してください。」「10メートルの津波？」「まもなく来る？」「至急、安全なところに避難？」最初に思ったのは、「天下のNHKがそんなこと言っているの？」ということでした。

しかし、津波は時を経ずしてやってきました。東北地方の港町がみるみるうちに水の猛威に飲み込まれていく映像は、感情の持ちようがない程、苛烈でした。ただただ、「一体、どれくらいの被害が出るのだろうか？」という漠然とした不安が持ち上がってくるのみでした。

それでも、少し気を取り直して、当社としてやるべきことを考え始めました。そういえば、さっき入れたコーヒーはどうしたかと思いましたが、しっかりものの営業部長に電源を切られていました。

東京の被災状況の確認、非難が必要かの判断、社員の安否確認NOCの人員確保、設備の状況把握、社員の帰宅可否判断、会社に泊まる社員の食糧確保等、いくつかやることは思い起こされ、社員はたいした混乱もなく、それを粛々とこなしてくれました。状況を見に外に出てみると、交通機関はすべて停止、タクシーは見当たらず、舗道は歩いて帰宅する人であふれかえっており、不思議な光景でした。ビルの下で、いつもオフィスを掃除してくれている女性が、「うちに帰れなくなった、どうしよう。」と途方にくれていたのも、「当社に泊まれば」ということで翌朝までいてもらいました。

その後顔を合わせる度に「あの時は本当にありがとう。」とお礼をされ、他の階より念入りに掃除してもらっているようです。

その後、津波被害に加え、福島原発の障害がおきて2重の災害となってしまいましたが、被災者の方々が苦しみながらも、前向きに頑張っておられる姿は日本の誇りであります。

実際、海外からも、これだけの惨事に際しても、暴動も略奪も殆ど起こらず、整然と行動する日本に対する評価は非常に高いようで、私のところにも外国の友人数名から賞賛のメールが届きました。おそらく日本なら復興もあつという間に成し遂げるであろうと思っているようです。

また、政府や東京電力の対応と情報公開に一部批判が高まっているようですが、これにしても、日本人流の生真面目さで、本当にできることを正しい情報に基づいて発表しようという姿勢が、やや自信なさ気に映ってしまうのと、日本人らしい強いものは

多少いじめてもかまわないという判官鼻根の裏返しの心情からくるもので、こういうときは嘘でも強気に出るというグローバルスタンダードよりは随分上をいっているような気がします。

現場で実際に被災者の支援に当たられている方たちのレベルは、会議室を出たときの日本の現場力を存分に発揮し、まちがいなく世界最高レベルでしょう。

また、日本にはこういうときに特徴的に現れる傾向があります。それは、人々の気遣いです。つまり、つらい思い、大変な思いをしている仲間がたくさんいるときに、自分だけ楽しい思いをすることは不謹慎だという考え方です。この独特の感情は、日本人の連帯感の源になっており、今回のような緊急の事態に際して組織の上からの指示を待たなくても

各個人が自発的に求められる行動を取れるようになるというプラスの側面があるのは感じます。

しかし、それでも、私は正直、この不謹慎という考え方は嫌いです。不謹慎と言い出すとすべての合理的な思考が停止してしまいかねません。

# Internap Latest News

例えば、プロ野球を予定通り開幕するかどうかが議論になっており、90%を超える人が開幕を延期すべきとアンケートに答えていました。この場合、考えるべきは、交通手段、電力、また、余震の続く中、一箇所に集まる大人数の観客の安全の確保などです。こうしたことを考えれば、私も今こうした大イベントを東北・関東でやるべきではないと思います。しかし、同じく開幕を延期するべきだと回答した人の多くが、理由として今この時期に開催するのは不謹慎だからということあげていました。それに対して、いやこういう時期だからこそ被災者を勇気付ける為に開幕すべきであるという意見もあります。この不謹慎 vs 勇気付けるの議論に、私はどうも違和感があります。勇気の部分は景気回復に置き換えられることもあります。

この対立構図からはいくら議論しても回答は出ないのではないのでしょうか？どちらも感情であり、いくら議論を深めてもお互いの感情が深まるだけで、物事の本質に合理的に近づくことは不可能だからです。

野球選手はまず野球をやるべきです。これが仕事であり、それが仕事として成り立っているということは、そこに何らかの意義があるからでしょう。その意義は、震災とは別次元の問題であり、震災が起きたからといって突然、消えてなくなるものではありません。

やるべきことはやる、これが第一です。ただ、諸般の事情でやるべきことがやれないことはありますが、諸般の事情に、今のこの状況下で不謹慎ということを含めるのは私にはどうしても違和感があります。

このような感情論ではなくて、もっと客観的かつ合理的に考えて、今のこの状況下で何をすべきかを考えることが大切だと思います。

そう考えれば、被災者支援という意味で私ができることは、少ないながらも義捐金を拠出することと、少し無理して節電に協力することくらいしかありません。後は、自分がやるべきことである、仕事、家事、それから、遊びも、なるべく通常と変わらず行っていくことです。

これは、被災者のためにはならないと思いますが、一人の人間として、今回の地震とは関係なく、守らなければいけない姿勢であると考えています。



代表執行役 CEO  
奥野 政樹

:\*☆\*: :\*★\*: :\*☆\*: :\*★\*: :\*☆\*: :\*★\*: :\*☆\*: :\*★\*: :\*☆\*:

★ | 2011年3月 弊社webサイトリニューアルのお知らせ | ★

弊社Webサイトをリニューアル致しました。 サービス内容からお客様事例まで、豊富でわかりやすいご案内を心掛け、既にサービスをご利用頂いている皆様にも喜んで頂ける内容に仕上げたいと、担当チームを中心に社員一同奮闘致しました！お時間のある時にぜひご閲覧頂き、ご意見ご感想を頂けますと幸いです。

:\*☆\*: :\*★\*: :\*☆\*: :\*★\*: :\*☆\*: :\*★\*: :\*☆\*: :\*★\*: :\*☆\*: